

会 議 議 事 録 (抄)

会 議 名	専門学校東京テクニカルカレッジ 第一回 バイオ・環境系教育課程編成委員会
開 催 日 時	平成 25 年 11 月 19 日 (火) 15 時 30 分～17 時 30 分
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール (第一部)、405 教室 (第二部)
参 加 者	外部委員：4 名
	オブザーバー・内部委員・学内関係者：6 名
	<p><外部委員：4 名／6 名中> (順不同・敬称略、役職は委員名簿参照)</p> <p>池上 正人 (NPO 日本バイオ技術教育学会／東北大学名誉教授、二号委員)</p> <p>小野寺 洋子 (株式会社 光英科学研究所、三号委員)</p> <p>堀内 貴之 (ネオ・モルガン研究所、三号委員)</p> <p>熊谷 智一 (水 ing 株式会社、同社 皆川剛委員の代理として出席、三号委員)</p> <p><small>※ 一号委員：業界団体・職能団体・地方公共団体等役職員、二号委員：学会・学術機関等有識者、三号委員：企業・関連施設等 役職員</small></p> <p><内部委員></p> <p>大江 宏明 (学校法人小山学園 専門学校東京テクニカルカレッジ バイオテクノロジー科 科長兼カリキュラムリーダー、環境テクノロジー科科长兼カリキュラムリー ダー、議長、記録)</p> <p><オブザーバー></p> <p>藤沼 俊則 (イーピーエス株式会社、企業同意書が間に合わないため)</p> <p><学内関係者・第一部のみ参加者></p> <p>佐々木 章 (学校法人小山学園 学園理事 学園本部長)</p> <p>佐藤 康夫 (同 学園理事 東京工科自動車大学校 校長)</p> <p>三上 孝明 (同 専門学校東京テクニカルカレッジ 校長、第一部のみ)</p> <p>高瀬 恵悟 (同 教務部長、第一部司会)</p>
会 議 録	<p><第一部 全体会 (「情報・Web・ゲーム系教育課程編成委員会」と合同開催) ></p> <p>0. 開会の辞・スケジュール案内 (司会)</p> <p>1. 学園側関係者挨拶 (佐々木、佐藤、三上)</p> <p>2. 委員の紹介 (三上)</p> <p>3. 教育課程編成委員会について (高瀬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職業実践専門課程」趣旨説明 ・教育課程編成委員会会則のご紹介・委員長紹介 <p>4. 学校の全体概況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の概況説明 (三上) ・「平成 24 年度自己評価報告書」の概要説明 (高瀬) <p><第二部 系別分科会></p> <p>1. 科長挨拶 (大江)</p> <p>2. 両科の概況説明 (大江)</p> <p>3. 意見交換 (まとめ)</p> <p><バイオテクノロジー科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材目標とカリキュラムは整合している。なお今回は初回であり、時間も限られていたので、カリキュラムフローと履修科目履修時間表のみ配布したが、各科目シラバスについて後日送付、確認することとした。 ・これからの時代、英語は必要となる。水準としては、最低限マニュアルを読めるようになることができればよいが、とにかく自分で辞書を引きながらでも理解しようという意欲があることが必要。英語アレルギーを先ずなくすことが先決ではないか。 ・その他、知財関連やコスト意識、経済・経営など企業活動に関する基本的な部分の理解も必要。技術者としての幅を広げる必要。

<環境テクノロジー科>

- ・人材目標とカリキュラムは整合しているが、出口（就職）を考慮するとやはりエンジニアリング系を強化すべき。今後はエンジニアリング部分のより一層の強化が必要。
- ・一方、バイオで要求されている英語などの語学能力に関しては、環境系ではあまり重要視されないと思う。

<共通・その他>

- ・バイオも環境も進む分野が広い。少なくともどのような分野をターゲットとするのか？それによりカリキュラム編成も変わってくる。そこを明確にする必要がある。
- ・カリキュラムで強化すべき点は、どのような出口を目指す人材を育成するのか？その方向性により当然かわってくる。まずこれを学校として明確にすることが必要である。
- ・英語は必要であるが、現在の入学者の状況を考えると英語アレルギーをいかになくすか？がポイント。指導法によりいっそうの工夫が必要。まずこのレベルを達成すべき。
- ・次回会合までに、学科の方向性（出口のターゲット）について確認を行い、科目構成（シラバス）、フロー案についてたたき台を作成、これについてメール等で意見交換を行う。

4. 次回日程について（議長）

- ・平成 25 年 1 月 23 日（木）15 時 30 分～17 時 30 分

5. 閉式の辞（議長）

以上